Ⅱ. 主要な取組

道路

道路ネットワークの整備

南海トラフ地震や激甚化・頻発化する豪雨災害への備えとし て、また、企業立地や産業振興など地域を活性化するため、高 速道路ネットワーク等の整備を推進しています。

また、「ひと」、「もの」の流れを活性化し県内外の発展に寄与 するため、高速道路ネットワーク等の整備に合わせ、幹線道路 網ICアクセス道路及び都市内道路等の整備を行っています。

- ○近畿自動車道紀勢線
 - で ・国による整備 新宮紀宝道路 (R6秋 開通予定) すさみ串本道路、串本太地道路、新宮道路は、 用地取得や工事を推進
 - ・西日本高速道路(株)による整備 印南IC~南紀田辺IC間の4車線化の工事を推進
- ○国直轄道路

国単特温時 国道42号冷水拡幅 (R 7 春 開通予定) 国道42号有田海南道路(R 7 春 部分開通予定) 国道169号奥瀞道路(Ⅲ期)は、工事を推進

○高規格道路(調査中区間)

京奈和自動車道などの整備効果をさらに波及させるため、「和歌山環状 北道路」や「京奈和関空連絡道路」の早期実現に取り組んでいる。

海南金屋線(幹線道路網)、上富田すさみ線(ICアクセス道路) など

防災・減災、県土の強靱化



【和歌山県の道路ネットワーク整備状況】

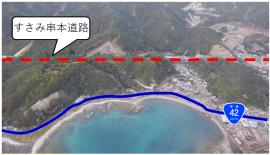
∼トピック∼ 災害に強い国土幹線道路ネットワーク整備が推進!

〇防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策により、県内の道路整備が大きく進捗 ○紀伊半島一周高速道路をはじめ、続々と開通が予定されています

①国道42号 新宮紀宝道路(令和6年秋 開通予定)



②国道42号 すさみ串本道路



- <事業の概要>
- 整備効果
 - 災害時の交通確保や、救急搬送 時間の短縮
- 新宮市内の交通混雑の緩和
- ・新宮港へのクルーズ入港客の観光 エリア拡大
- ○事業期間:平成25年度~
- ○延 長:2.4km



<事業の概要>

- ○整備効果
- 災害時の交通確保や、救急搬送 時間の短縮
- ・観光客の増加や、地域の特産品 の販路拡大による地域の活性化
- ○事業期間:平成26年度~
- 長:19.2km ○延

③国道42号 冷水拡幅・有田海南道路(令和7年春 全線及び部分開通予定) <事業の概要>





- ○整備効果
- 有田市〜海南市間の交通混雑の 緩和及び災害時の交通確保
- ・有田海南道路沿いにオープンし た道の駅海南サクアスは、連日 多くの人で賑わっている
- ・有田サンブリッジの開通により、 通学時の安全性が向上
- ○事業期間:平成19年度、20年度~
- ○延 長: 1.1km、9.4km

老朽化対策の推進、防災・減災対策

防災・減災、県土の強靱化

高度経済成長期に集中的に整備されたインフラが今後加速度的に老朽化するなか、平常時はもとより災害時にも 本来の機能が発揮できるよう、老朽化対策を推進しています。

また、南海トラフ地震等の災害時における緊急輸送道路等の通行を確保するため、橋梁の耐震化や道路法面強化、 無電柱化を推進しています。





【老朽化対策】

- ○中ノ串谷橋(田辺龍神線)
- ・床版のコンクリートが剥離し鉄筋が露出、 通行止めとなった
- ・補修工事を行い、通行止めを解除

【橋梁の耐震化】

- ○紀の川河口大橋(第一次緊急輸送道路)
- ・橋梁耐震化を行うことで、災害時の通行 止めリスクを軽減
- ・災害時における緊急輸送道路の通行機能











【道路法面強化】

- 国道168号(第一次緊急輸送道路)
- ・法面強化の実施により、豪雨等による災害 発生リスクを軽減
- ・災害時における緊急輸送道路の通行機能 を確保

交通安全対策

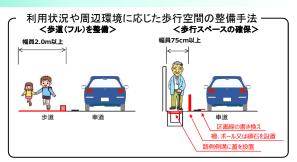
子どもや高齢者が安心して生活できるよう、歩道整備を進め るとともに、通学路の合同点検において抽出した要対策箇所や、 死傷事故が多い箇所における安全対策を進めるなど、道路交通 の安全性向上に取り組んでいます。

【歩道整備】

- ○新和歌浦梅原線(和歌山市西浜~舟津町四丁目)
- ○御坊由良線(由良町吹井)
- ○上万呂北新町線(田辺市中万呂~下万呂)

など

住みやすいまちづくり



自転車利用環境の整備

地域の魅力を楽しみながらの観光や健康づくりを促進するため、 利便性や安全性を備えた自転車利用環境の整備に取り組んでいます。
●ルート名

【サイクリングロードの整備】

OWAKAYAMA800

全長約800kmの「川・山・海」の3つのサイクリングロード。 現在、河川敷を利用した専用道路化の整備を進めています。

○太平洋岸自転車道(ナショナルサイクルルート) 千葉県銚子市から和歌山市に至る延長1,487kmの自転車道。 矢羽根型路面表示の設置など、利用環境の向上に取り組んでいます。

【まちなかの自転車通行空間整備】

市街地において、自転車の通行位置を明確にし、歩行者と自転車の安全性を高めるため、矢羽根型路面表示等の整備を進めています。

観光産業の強化





「川」のサイクリングロード

WAKAYAMA800ルート図